

(平成~~26~~27年度実施分)

大学機関別選択評価

# 自己評価実施要項

独立行政法人

大学評価・学位授与機構

## はじめに

独立行政法人大学評価・学位授与機構（以下「機構」という。）の「大学機関別選択評価」（以下「選択評価」という。）は、大学の個性的で多様な発展に資するために行うものであり、大学の個性や特色が十分に発揮できるよう、各大学が有する選択評価事項に関わる「目的」を踏まえて実施します。

この自己評価実施要項は、機構が定める「選択評価事項」に基づき実施する選択評価において、対象大学が評価を受ける際に行う自己評価の方法等について記載したものです。

本要項は、3つの章から構成されており、「第1章 評価の内容等」では、機構が実施する選択評価の基本的な内容等を記載しています。

「第2章 自己評価の方法等」及び「第3章 自己評価書の作成及び提出方法」では、各対象大学が行う自己評価の具体的方法や自己評価書の具体的な作成方法及び提出方法等について記載しています。

各対象大学においては、本要項を基に適切かつ効果的な自己評価を実施してください。

# 目 次

第 1 章	評価の内容等	1
I	評価の対象	1
II	評価の内容	1
III	実施時期	1
IV	自己評価のプロセス	2
第 2 章	自己評価の方法等	3
I	目的の記載	3
1	目的の意義	3
2	選択評価事項 A、B、C に係る目的の記載	3
3	目的の記載に当たっての留意事項	3
II	選択評価事項 A、B、C の自己評価	4
1	選択評価事項ごとの自己評価のプロセス	4
2	観点ごとの分析	4
3	目的の達成状況の判断	5
4	優れた点及び改善を要する点の記述	5
第 3 章	自己評価書の作成及び提出方法	6
I	自己評価書の構成及び様式	6
1	自己評価書の構成	6
2	自己評価書の様式	6
II	自己評価結果等の記述要領	6
1	大学の現況及び特徴	6
2	目的	8
3	選択評価事項に係る目的	9
4	選択評価事項の自己評価	9
5	根拠となる資料・データ等の示し方	11
III	自己評価書イメージ	12
IV	自己評価書の提出方法	13
1	提出方法	13
2	提出締切及び提出先	13
3	その他	13
別 紙	1 選択評価のスケジュール	15
別 紙	2 分析する際の留意点及び根拠資料・データ等例	17
別 紙	3 研究活動実績票について	27
別 紙	4 外国人学生受入実績票・国内学生海外派遣実績票について	35
参 考 資 料	評価報告書イメージ	47

# 第1章 評価の内容等

## I 評価の対象

国・公・私立大学のうち、評価の申請のあった大学（以下「対象大学」という。）を対象として、評価を実施します。

## II 評価の内容

大学機関別選択評価（以下「選択評価」という。）は、独立行政法人大学評価・学位授与機構（以下「機構」という。）が独自に行う第三者評価として、「選択評価事項」を定め、大学の希望に応じて大学機関別認証評価とは異なる側面から大学の教育研究活動等を評価します。

選択評価事項には、選択評価事項A「研究活動の状況」、選択評価事項B「地域貢献活動の状況」及び選択評価事項C「教育の国際化の状況」の3つを設けています。それぞれの選択評価事項では、水準判定を加味しつつ、各大学が有する目的の達成状況を中心に評価を実施します。なお、各大学は、それぞれの選択評価事項について、評価を受けるか否かを選択することが可能です。

## III 実施時期

[評価実施の前年度]

5月～6月 選択評価等に関する説明会、自己評価担当者等に対する研修会の実施

9月末 評価の申請受付締切

~~対象大学の自己評価担当者等に対する研修の実施~~

[評価実施年度]

6月末 対象大学からの自己評価書の提出締切

7月～ 研究活動実績票に係る調査及び書面調査の実施

1月末 評価結果を確定する前に評価結果（案）を対象大学に通知

2月下旬 対象大学からの意見の申立ての受付締切

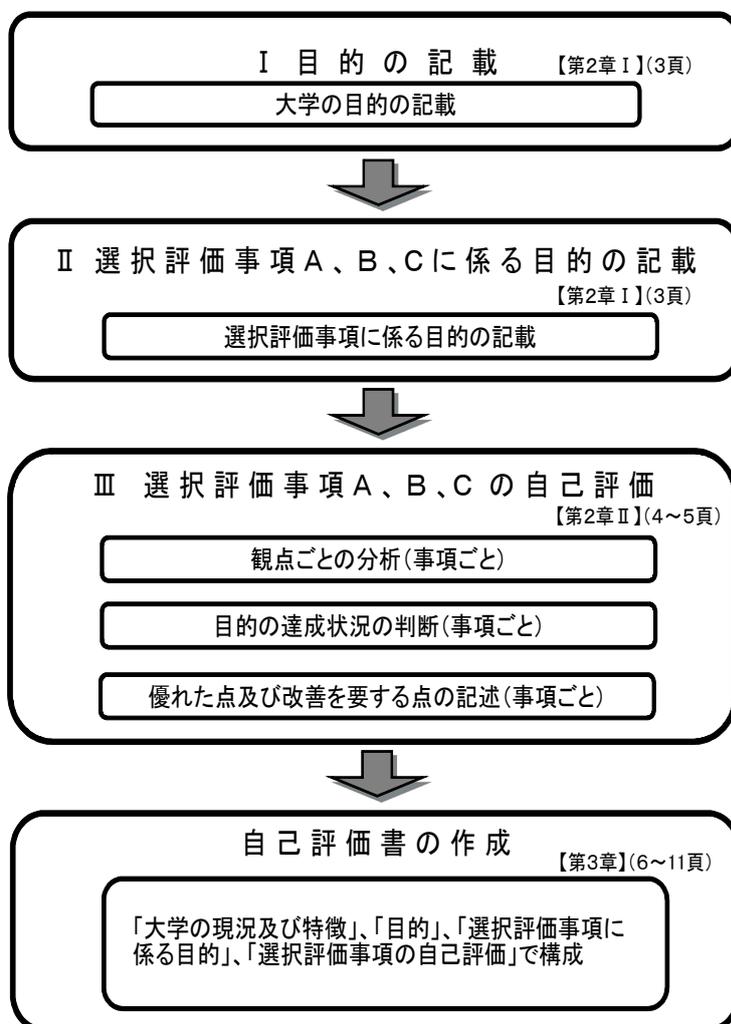
3月下旬 評価結果の確定及び公表

（注）評価全体のスケジュールは、別紙1「選択評価のスケジュール」（15頁）に示すとおりです。

## IV 自己評価のプロセス

本評価においては、対象大学が行う自己評価が重要な位置を占めています。  
対象大学においては、機構が定める選択評価事項に基づき、自己評価を実施してください。

### 自己評価のプロセス



## 第2章 自己評価の方法等

### I 目的の記載

#### 1 目的の意義

本評価における大学の「目的」とは、大学の使命、教育研究活動等を実施する上での基本的な方針、達成しようとしている基本的な成果等をいいます。

目的の記載に当たっては、このことを踏まえ、大学の目的、及びその目的から派生する内容も含めて、大学の個性や特色が活かされるよう考慮してください。

#### 2 選択評価事項A、B、Cに係る目的の記載

選択評価の実施に当たっては、対象大学が目的を明示することが必要です。機構が評価を実施するに当たって、各事項において、この目的を踏まえることにより大学の個性や特色が評価に反映されることとなります。

選択評価を希望する場合には、大学の目的の記載に加えて、選択評価事項に係る目的を記載してください。

なお、選択評価事項においては、目的の達成状況を中心に評価することから、当該事項に係る目的が重要な位置を占めることとなりますので、目的の内容を具体的かつ明確に記載してください。

#### 3 目的の記載に当たっての留意事項

目的の記載に際しては、次のことに留意してください。

##### (1) 大学として期間を定めた目標等を有する場合

大学がその運営に関する期間を定めた目標等を有している場合には、その目標等の達成状況を評価に反映させることも可能です。その際には、その目標等の基本的な内容を目的として位置付け、記載することが必要です。

##### (2) 学部・研究科等ごとの目的の記載に当たって

学部・研究科等ごとの目的の記載に当たって、学士課程、大学院課程（専門職学位課程を含む。）等ごとに共通の目的がある場合には、まず課程共通の目的を記載した上で、学部・研究科等ごとに目的を記載してください。（学部において学科・課程ごとに目的がある場合や、研究科において専攻ごとに目的がある場合も、同様に記載してください。）

## II 選択評価事項A、B、Cの自己評価

### 1 選択評価事項ごとの自己評価のプロセス

選択評価事項の自己評価は、選択評価事項A、B、Cの事項ごとに、①「観点ごとの分析」、②「目的の達成状況の判断」、③「優れた点及び改善を要する点の記述」の流れで行います。

### 2 観点ごとの分析

(1) 事項ごとの自己評価を実施する際には、まず、事項に対応して示された基本的な観点に従って各活動の状況等进行分析する必要があります。基本的な観点は、当該事項についての目的の達成状況を判断するための重要な要素となりますので、自己評価においては、全ての基本的な観点に係る状況の分析を行ってください。

なお、基本的な観点に係る状況の分析が不十分なために、機構の評価において当該事項についての目的の達成状況の判断ができない場合には、その基本的な観点の状況の分析の補充を求めることがあります。

(2) 基本的な観点のほかにも、大学の状況や目的に応じて独自の観点の設定が必要と考えられる場合があります。こうした場合には、各事項に対応した、独自の観点を適切に盛り込んでください。

(3) 基本的な観点及び大学が独自に設定した観点の分析に当たっては、観点ごとに、「観点に係る状況」、「分析結果とその根拠理由」を記述してください。

① 「観点に係る状況」については、目的との関連を踏まえて、自己評価書提出時までの間の自己評価が可能な現在の状況を記述してください。この際、取組や活動の内容等の客観的事実を具体的に記述してください。

(記述が具体的ではなく、不適切な例)

- ・評価結果を改善に活かしている。
- ・活発に活動している。
- ・多くの成果を上げている。
- ・高く評価されている。

また、当該観点の状況が明確になるよう、現在に至るまでの経緯や過去の状況も含めるなど、根拠となる資料・データ等を示しつつ、それぞれの状況に応じて適切に記述してください。

なお、各観点に関して、大学がその目的を達成するための具体的な目標や計画を有している場合には、その内容を明らかにした上で、状況の分析を行うことにより、評価に目標等の達成状況を反映させることが可能です。また、それにより対象大学の個性や特色を表すことができます。

② 「分析結果とその根拠理由」は、「観点に係る状況」についての分析結果（自己評価による分析結果）を分かりやすく明確に記述するとともに、それを導いた理由を、「観点に係る状況」に記載した取組や活動の内容等の客観的事実を摘示しつつ記述してください。

- (4) 別紙2「分析する際の留意点及び根拠資料・データ等例」(17～25頁)には、基本的な観点ごとの分析する際の留意点のほか、自己評価の根拠として必要と考えられる資料・データ等を例示してありますので、大学の特性や状況等を踏まえつつ、適宜参考にしてください。また、このほか、大学の目的や状況等に応じて、独自の資料・データ等を利用することも可能です。

ただし、選択評価事項A「研究活動の状況」の評価を希望する場合には、別紙3「研究活動実績票について」(27～33頁)に基づき「研究活動実績票」を作成し、自己評価の際には、それらを根拠となる資料・データ等の1つとして用いつつ、基本的な観点A-2-①～③の分析を行ってください。また、「観点到に係る状況」については、学部・研究科等ごとに状況の分析を行い記述した上で、大学全体の分析を記述してください。

また、選択評価事項C「教育の国際化の状況」の評価を希望する場合には、別紙4「外国人学生受入実績票・国内学生海外派遣実績票について」(35～45頁)に基づき「外国人学生受入実績票」及び「国内学生海外派遣実績票」を作成し、自己評価の際には、それらを根拠となる資料・データ等の1つとして用いつつ、基本的な観点C-1-②～③の分析を行ってください。

### 3 目的の達成状況の判断

選択評価事項の目的の達成状況は、選択評価事項に係る目的に照らし、「観点ごとの分析」の結果を総合した上で、4段階で判断してください。

この際、下の表に示す「判断の際の考え方」を目安に、「判断を示す記述」を用いて、目的の達成状況の判断を行ってください。

判断を示す記述	判断の際の考え方
目的の達成状況が極めて良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が非常に優れており、目的に照らして達成状況が極めて良好であると判断される場合
目的の達成状況が良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況が優れており、目的に照らして達成状況が良好であると判断される場合
目的の達成状況がおおむね良好である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に改善すべきところはあるが、目的に照らして達成状況がおおむね良好であると判断される場合
目的の達成状況が不十分である	観点ごとの分析において、取組状況や活動状況に大きな問題があり、目的に照らして達成状況が不十分であると判断される場合

### 4 優れた点及び改善を要する点の記述

選択評価事項ごとに、観点の分析の中から目的を踏まえて、特に重要と思われる点を「優れた点」、「改善を要する点」として抽出し、記述してください。なお、抽出する点がない場合は、「該当なし」と記述してください。

## 第3章 自己評価書の作成及び提出方法

### I 自己評価書の構成及び様式

#### 1 自己評価書の構成

自己評価書の構成については、「Ⅲ 自己評価書イメージ」(12頁)を参照してください。

なお、選択評価の自己評価書は、事項ごとにそれぞれ別に作成してください。

#### 2 自己評価書の様式

自己評価書は、下記及び「Ⅱ 自己評価結果等の記述要領」に沿って、作成してください。自己評価書様式ファイルは、機構のウェブサイト (<http://www.niad.ac.jp>) に、MS-Word版を用意していますので、ダウンロードしてください。

- (1) 自己評価書は、A4縦長・横書きで作成してください。
- (2) 原則として、日本語は明朝体で全角、英字は明朝体で半角、一桁の数字は明朝体で全角、二桁以上の数字は明朝体で半角をそれぞれ使用してください。
- (3) 「大学の現況及び特徴」のページ以降、中央下に通し番号を付けてください。
- (4) 各ページの右上に大学名を記述してください。(表紙を除く。)
- (5) 「選択評価事項に係る目的」及び「選択評価事項ごとの自己評価」のページには、各ページの右上に(4)の大学名に加え、選択評価事項の記号を記述してください。

### II 自己評価結果等の記述要領

#### 1 大学の現況及び特徴

大学の現況及び特徴は、機構において評価を実施する際の参考とするとともに、評価報告書に原則として原文のまま掲載し、社会に分かりやすく紹介するためのものです。

この趣旨を踏まえ、以下の内容構成によって2,000字(横25字×縦40行×2段)以内で簡潔に記述してください。なお、フォントは明朝体9ポイントを使用してください。



## 2 目的

- (1) 第2章の「I 目的の記載」を踏まえ、大学の目的を4,000字（横50字×縦40行×2ページ）以内で記載し、フォントは明朝体9ポイントを使用してください。  
なお、学部・研究科等ごとの目的を別紙として作成する場合は、別添の資料・データ等としてください。この場合は、字数制限外とします。
- (2) 記載内容は、原則として原文のまま、評価報告書に掲載し公表します。

<p>II 目的</p> <p style="text-align: right;">○○大学</p> <p>1 . . . . .</p> <p>2 . . . . .</p> <p>3 . . . . .</p> <p>    . . . . .</p> <p>(学部・研究科等ごとの目的)</p> <p>. . . . .</p> <p style="text-align: center;">- 2 -</p>	<p><b>【大学の目的】</b></p> <p>大学の使命、教育研究活動等を実施する上での基本方針、達成しようとする基本的な成果等について記載してください。</p> <p>適宜、項立てをしたり、箇条書きにするなど分かりやすく記載してください。</p> <p>学部・研究科等ごとの目的を記載してください。また、学士課程・大学院課程（専門職学位課程を含む。）ごとに共通の目的がある場合にも同様に記載してください。</p> <p>なお、学部・研究科等ごとの目的を別紙として作成する場合は、別添の資料・データ等としてください。</p>
--	--

### 3 選択評価事項に係る目的

(1) 第2章「I 目的の記載」の「2 選択評価事項A、B、Cに係る目的の記載」を踏まえ、選択評価事項に係る目的を事項ごとに2,000字（横50字×縦40行×1ページ）以内で記載し、フォントは明朝体9ポイントを使用してください。

なお、学部、研究科等ごとに当該事項に係る目的があり、当該組織の目的を別紙として作成する場合は、別添の資料・データ等としてください。この場合は、字数制限外とします。

(2) 記載内容は、原則として原文のまま、評価報告書に掲載し公表します。

〇〇大学 選択評価事項A

III 選択評価事項A 研究活動の状況

1 選択評価事項A「研究活動の状況」に係る目的 ←

(1) ..... ←

(2) ..... ←

(3) ..... ←

(学部・研究科等ごとの目的)

..... ←

..... ←

**【選択評価事項に係る目的】**

選択評価事項に係る目的を具体的かつ明確に記載してください。

適宜、項立てをしたり、箇条書きにするなど分かりやすく記載してください。

学部・研究科等ごとの目的がある場合に記載してください。なお、当該組織の目的を別紙として作成する場合は、別添の資料・データ等としてください。

選択評価事項B・Cを希望する場合には、同様に記述してください。  
(記述に当たっては、事項ごとにページを改めてください。)

### 4 選択評価事項の自己評価

第2章の「II 選択評価事項A、B、Cの自己評価」を踏まえ、「観点ごとの分析」を選択評価事項Aについては10,000字以内、選択評価事項B、Cについては7,000字以内で記述し、フォントは明朝体10.5ポイントを使用してください。なお、選択評価事項Aについては、A-2の観点を学部・研究科等ごとに分析を記述する必要があることから、「研究活動実績票」を作成する学部・研究科等が1つの場合には上記のとおりとしますが、それより多い場合には、1つの学部・研究科等当たり1,000字を加算することができます。また、各事項の「優れた点及び改善を要する点」及び根拠となる資料・データ等は、字数制限外とします。



## 5 根拠となる資料・データ等の示し方

- (1) 資料・データ等は、原則として、「観点に係る状況」の本文中に記述した状況説明等との関係が容易に確認できる位置に記載してください。(コピーの貼付や差込でも構いません。) その際、資料・データ等を記載することにより本文が読みにくくなることのないよう、本文中に記載する資料・データ等は必要最小限としてください。  
なお、自己評価書(下記(2)により別添で提出された資料・データ等を除く。)は、機構のウェブサイトに掲載しますので、特に不開示情報や著作物等について留意が必要です。
- (2) 本文中に記載することで読みにくくなる場合、又は不開示情報や著作物等公表にふさわしくない場合には、別添として記載してください。この場合においても、自己評価書に記載している内容を確認するのに必要な箇所のコピー等を別添とするなど、必要最小限としてください。
- (3) 本文中又は別添の資料・データ等には、その名称や出典(該当ページ番号を含めて)を必ず明記してください。また、ウェブサイトのURLを引用する場合には、該当箇所に直接アクセスできるURLを明記してください。
- (4) 資料・データ等の記載に際し、縮小して貼付する場合等には、内容が明確に判別できるようにしてください。判別の困難な資料・データ等については、再提出していただく場合もありますので、注意してください。
- (5) 資料・データ等には、対象大学で作成した自己点検・評価報告書や外部検証(評価)報告書の該当部分等も活用できます。
- (6) 機構の評価に当たり、資料・データ等が不足していると判断される場合には、関係資料の追加提出を求めることがあります。
- (7) 資料・データ等を、本文中や別添として記載できない場合は、別途機構にご相談ください。
- (8) 別紙2「分析する際の留意点及び根拠資料・データ等例」(17~25頁)に、自己評価の根拠となる資料・データ等の例示を掲載しましたので、適宜参考にしてください。
- (9) 選択評価事項A「研究活動の状況」を希望する場合には、自己評価の根拠となる資料・データ等として、別紙3「研究活動実績票について」(27~33頁)に基づき、「研究活動実績票」を作成してください。
- (10) 選択評価事項C「教育の国際化の状況」を希望する場合には、自己評価の根拠となる資料・データ等として、別紙4「外国人学生受入実績票・国内学生海外派遣実績票について」(35~45頁)に基づき、「外国人学生受入実績票」及び「国内学生海外派遣実績票」を作成してください。

### Ⅲ 自己評価書イメージ

大学機関別選択評価  
自己評価書  
平成〇年〇月  
〇〇大学

〇〇大学

目次

I 大学の現況及び特徴・・・・・・・・ 1  
II 目的・・・・・・・・ 2  
III 選択評価事項A 〇〇〇〇〇・・・・ 〇  
IV 選択評価事項B 〇〇〇〇〇・・・・ 〇  
V 選択評価事項C 〇〇〇〇〇・・・・ 〇

〇〇大学

I 大学の現況及び特徴

1 現況	2 特徴
(1) 大学名	・・・・・・・・
(2) 所在地	・・・・・・・・
(3) 学部等の構成	・・・・・・・・
・・・・・・・・	・・・・・・・・
・・・・・・・・	・・・・・・・・
(4) 学生数及び教員数	・・・・・・・・
・・・・・・・・	・・・・・・・・
・・・・・・・・	・・・・・・・・

-1-

〇〇大学

II 目的

1 ・・・・・・・・

2 ・・・・・・・・

・

・

(学部・研究科等ごとの目的)

-2-

〇〇大学 選択評価事項A

III 選択評価事項A 〇〇〇〇〇

1 選択評価事項A「〇〇〇〇〇」に係る目的

(1) ・・・・・・・・

(2) ・・・・・・・・

(学部・研究科等ごとの目的)

-〇-

〇〇大学 選択評価事項A

2 選択評価事項A「〇〇〇〇〇」の自己評価

(1) 観点ごとの分析  
【観点に係る状況】  
【分析結果とその根拠理由】

(2) 目的の達成状況の判断

(3) 優れた点及び改善を要する点  
【優れた点】  
【改善を要する点】

-〇-

〇〇大学 選択評価事項B

IV 選択評価事項B 〇〇〇〇〇

1 選択評価事項B「〇〇〇〇〇」に係る目的

(1) ・・・・・・・・

(2) ・・・・・・・・

(学部・研究科等ごとの目的)

-〇-

〇〇大学 選択評価事項B

2 選択評価事項B「〇〇〇〇〇」の自己評価

(1) 観点ごとの分析  
【観点に係る状況】  
【分析結果とその根拠理由】

(2) 目的の達成状況の判断

(3) 優れた点及び改善を要する点  
【優れた点】  
【改善を要する点】

-〇-

〇〇大学 選択評価事項C

V 選択評価事項C 〇〇〇〇〇

1 選択評価事項C「〇〇〇〇〇」に係る目的

(1) ・・・・・・・・

(2) ・・・・・・・・

(学部・研究科等ごとの目的)

-〇-

〇〇大学 選択評価事項C

2 選択評価事項C「〇〇〇〇〇」の自己評価

(1) 観点ごとの分析  
【観点に係る状況】  
【分析結果とその根拠理由】

(2) 目的の達成状況の判断

(3) 優れた点及び改善を要する点  
【優れた点】  
【改善を要する点】

-〇-

注1)  は、評価報告書に原則として原文のまま転載します。  
注2) 選択評価事項A・B・Cの評価を実施した場合のものです。

## IV 自己評価書の提出方法

### 1 提出方法

#### (1) 自己評価書について

選択評価に係る自己評価書は、紙媒体を20部、電子媒体（MS-Word版）を1部提出してください。紙媒体の自己評価書については、両面印刷とし、表紙の裏面は白紙にしてください。

#### (2) 自己評価の根拠となる資料・データ等について

- ① 根拠となる資料・データ等を別添とする場合には、当該別添資料を20部提出してください。
- ② 選択評価事項A「研究活動の状況」の評価を希望する場合には、研究活動実績票（別紙様式①～③）について、紙媒体（両面印刷）を20部、電子媒体（MS-Word版）を1部提出してください。
- ③ 選択評価事項C「教育の国際化の状況」の評価を希望する場合には、外国人学生受入実績票・国内学生海外派遣実績票（別紙様式①～⑤）について、紙媒体（両面印刷）を20部、電子媒体（MS-Excel版）を1部提出してください。

注）自己評価書、研究活動実績票の電子媒体の作成方法について

- ① 電子データを保存した、CD-R、DVD-R、USBメモリーのいずれかを提出してください。提出に際しては、CD-R等に大学名をラベル等で貼付してください。また、複数に分けて提出する場合は、大学名とともに保存ファイル名（自己評価書、研究活動実績票等）についてもラベル等でそれぞれに貼付してください。
- ② 電子媒体を提出する際には、次の点に注意してください。
  - ・外字は使用しないでください。
  - ・漢字コードは、原則としてJIS第1、第2水準の範囲で使用してください。また、機種に依存する文字は、できる限り使用しないでください。  
（例）単位記号、省略文字、囲み数字等
  - ・人名等でJIS第1、第2水準にない漢字は、代替文字もしくは、かな書きとしてください。

### 2 提出締切及び提出先

- (1) 提出締切 評価実施年度の6月30日必着  
6月30日が土日に当たる場合は直前の金曜日必着
- (2) 提出先 〒187-8587 東京都小平市学園西町1-29-1  
独立行政法人大学評価・学位授与機構  
評価事業部
- (3) 封筒の表面の左側部に「選択評価自己評価書在中」と朱書きで表示してください。

### 3 その他

- (1) 提出された書類に記述等の不備がある場合には、再提出又は追加提出を求めることがあります。
- (2) 評価報告書に原則として原文のまま掲載される「大学の現況及び特徴」、「目的」、「選択評価事項に係る目的」について、指定した分量を超える場合には、再提出を求めることがあります。